



れんがとは…

身近にある「土」を使って容易に作ることができるため、世界各地で最も古くから使われてきた建築用材料の一つです。日干しれんがや焼成れんがの他、工場で使う耐火れんがなどがあります。

中国ではタイル状のものも含めて“磚”と呼び、日本には仏教とともに伝えられました。

赤れんが博物館のご案内

舞鶴市には、明治34年(1901)の旧海軍舞鶴鎮守府の開庁に伴い、海軍が建設したものを中心に多くの建造物が現存し、風雪を経た赤れんがはエキゾチックな雰囲気をもたらし出しています。

この赤れんが博物館の建物は明治36年(1903)に旧舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫として建設されたもので、本格的な鉄骨構造のれんが建築物としてはわが国に現存する最古級のものとなっています。

舞鶴の魅力の一つとなっている、れんがとその歴史を多くの方々に理解していただくことを目的として赤れんが博物館を開館いたしました。

- 鉄骨れんが造・2階建。延床面積830.36㎡
- 国指定重要文化財 平成20年(2008)6月指定

開館時間 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	200円
学生(小学～大学)	150円	100円

引揚記念館 一般 400円 学生 200円

(共通券は個人分のみです。赤れんが博物館・引揚記念館にご入館いただけます。) ※引揚記念館は、毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)も休館します。

割引制度 ◎障害者割引あり

※身体障害者手帳・療育手帳、精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご提示下さい。入館料が半額になります。

◎「海軍ゆかりの港めぐり遊覧船」の乗船券提示で100円割引(学生は50円割引)

※引揚記念館共通券・団体入館券・クーポン券は、割引の対象外となります。



ACCESS

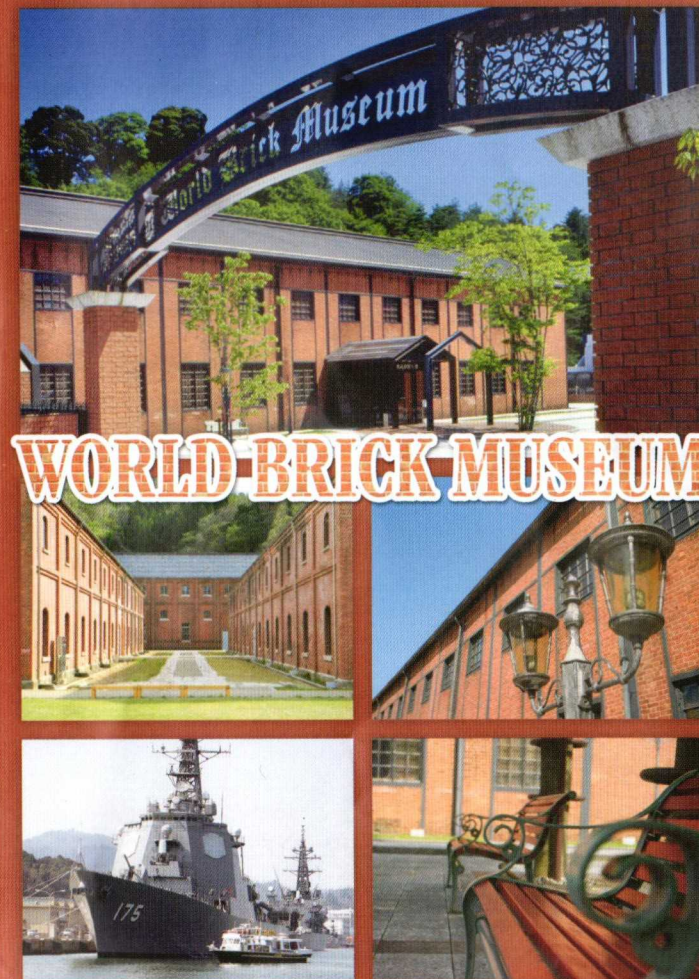
- 車 京都から 京都縦貫自動車道、国道9号、27号で約100km
大阪から 中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
敦賀から 国道27号、舞鶴若狭自動車道で約80km
○ 舞鶴東ICから 約6km(約10分)
○ 舞鶴引揚記念館から 約6km(約10分)
- 電車 京都から 山陰線、舞鶴線[JR](約1時間40分〈特急〉)
大阪から 京都經由で約2時間20分
敦賀から 小浜線[JR](約2時間)
- 高速 京都から 直通で約2時間
バス 大阪(なんば)から 直通で約2時間10分

舞鶴市立 赤れんが博物館

〒625-0036 舞鶴市字浜2011番地
TEL 0773-66-1095 FAX 0773-64-5123
E-mail: renga@post.city.maizuru.kyoto.jp



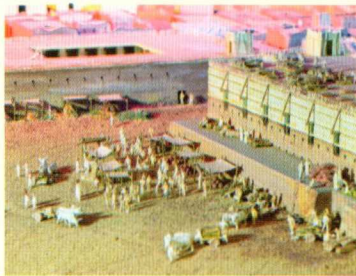
舞鶴市立 赤れんが博物館



1st Floor 1階 展示室

1 れんがが登場

れんがの歴史は、今から約1万年前から始まったといわれています。古くは、エジプト・メソポタミア・インダス・黄河の四大文明発祥地において使われてきました。



インダス モエンジョダロ遺跡模型



エジプト 魚の丘遺跡の日干しれんが
(紀元前1400年頃)



メソポタミア ウル第3王朝のれんが
(紀元前2040年頃)

2 世界のれんが



万里の長城のれんが
(14世紀末)

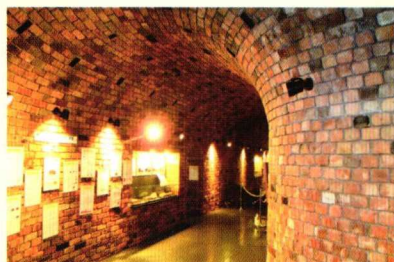


ローマンブリック(紀元後200年頃)

れんがは、世界各国で建築材料として広く使用されてきました。中国、ローマ帝国などの著名なれんが建造物を紹介しています。

3 ホフマン窯コーナー

かつてれんが製造の主流を占めたホフマン窯内部を再現し、れんがの作り方などを紹介しています。

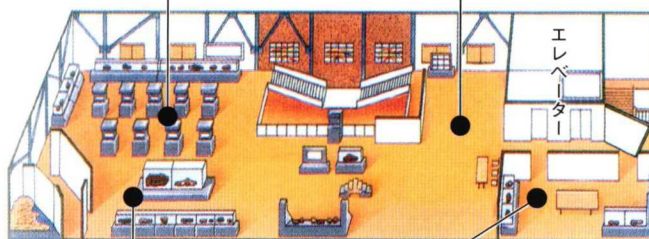


2階 展示室

2F

4 日本のれんがの歩み

6 耐火れんがコーナー



5 舞鶴市とれんが

7 歴史を証言するれんが

1F

3 ホフマン窯コーナー

8 ミュージアムショップ



1 れんがが登場

2 世界のれんが



1階 展示室

2nd Floor 2階 展示室

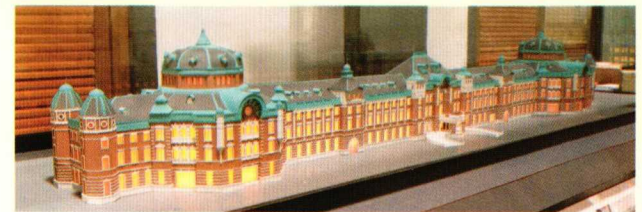
4 日本のれんがの歩み

れんがは、中国大陸・朝鮮半島から日本へ仏教建築の材料として伝わってきました。また明治維新以降の「文明開化」により数多くのれんが建造物が造られてきました。



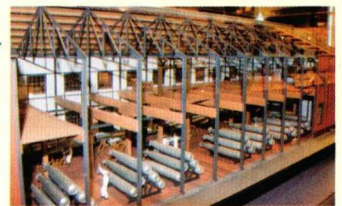
旧司法省のれんが(1895年)

東京駅模型



5 舞鶴市とれんが

舞鶴市内には、今なお数多くの赤れんがの建造物が残っています。倉庫や工場など海軍関係の諸施設を中心に、要塞や鉄道施設、全国に4基しか残っていないホフマン窯などがあります。その数や用途が多い点で、舞鶴は日本有数の赤れんがのまちといえます。



魚形水雷庫模型

6 耐火れんがコーナー

江戸幕府末期に造られた反射炉の耐火れんがから現代の耐火物まで展示しています。



7 歴史を証言するれんが

原爆ドームやアウシュビッツ強制収容所などで使用されたれんが等を展示しています。

8 ミュージアムショップ